

熊本城の管理運営施設

	現状	課題等
①事務所	ニッセイウェルス生命ビル 2・3階	<ul style="list-style-type: none"> ・旧事務所（古京町別館）は地震被災で解体したため、自前の事務所（建物）を失った状態 ・現在のビルは、毎年のテナント費用が必要 ・市役所に近いので行来に便利 ・熊本城（現場）が離れているので行来に不便
②調査作業室	国税局分室1・2階 (地震後に財務局より借用中)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期限がある ・作業員の日々の業務・進捗を管理する必要 ・ある程度の面積の作業スペースが必要 (出土遺物の水洗・注記・接合・拓本・実測、 図面・写真整理など) ・給排水・シンク・空調・照明などの設備が必須
③案内・展示施設	なし (わくわく座などに一部展示)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵図・古写真、新たな出土品等の展示 ・センター定期講座・講演・研修会等の開催
④図書倉庫	①事務所 ②調査作業室 に分散	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期限がある ・分散していて不便 ・図書資料（熊本城調査研究センター所蔵）を 市民が検索・閲覧することができない
⑤史料・寄託品等 倉庫	刑部邸、三の丸プレハブなど	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯・セキュリティーが不十分 ・温湿度管理が不十分、資料劣化進行のおそれ ・資料の保存・管理（修復・メンテナンス等）
⑥出土品倉庫	三の丸プレハブ 旧NHK建物(地震後に借用中) 城南倉庫(地震で被災)	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度管理ができない(金属製品を含む) ・使用期限がある(旧NHK建物は解体予定)。 ・次の移動・保管場所は未定 ・防犯・セキュリティー(場所が遠方かつ無人)
⑦書類倉庫	①事務所 ②調査作業室及び倉庫 ⑥出土品倉庫(三の丸) に分散	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事には欠かせない重要な書類が多い (過去の工事原義・図面・写真など) ・3ヶ所に分散して保管中のため、検索が困難
⑧管理作業詰所	国税局分室1階・倉庫 (地震後に財務局より借用中)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期限がある ・旧作業所(古京町別館・二の丸)は地震被災で 解体したため、自前の詰所(建物)を失った状態 ・作業用トラックの駐車スペース、管理用具の保 管スペース、職員の執務スペースなどが必要
⑨建築部材倉庫	城内各所(プレハブ倉庫)	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事(重要文化財の解体保存修理など)の 進捗に伴い、多くの倉庫が同時に必要な状態
⑩その他	石置き場(国税局分室敷地内) 天守模型(国税局分室1階)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期限がある。その後の移動作業と保管場所 ・